

氏名	澁谷 祐一
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 3299号
学位授与の日付	平成11年3月25日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Ratio of CD44 Epithelial Variant to CD44 Hematopoietic Variant is a Useful Prognostic Indicator in Gastric and Colorectal Carcinoma (CD44E/H 比は胃癌、大腸癌の有用な予後因子である)
論文審査委員	教授 清水 信義 教授 赤木 忠厚 教授 辻 孝夫

### 学位論文内容の要旨

CD44 は細胞接着分子であり mRNA の変則的スプライシングにより多数のアイソフォームが存在しており、CD44 変異型は腫瘍の増殖、転移に関与していると言われている。今回我々は、CD44 変異型発現と胃癌、大腸癌の予後との検討を行った。

当院にて手術を行った胃癌 30 例、大腸癌 25 例の手術標本を用い CD44 プライマーで RT-PCR を行った。治癒切除例を対象に上皮型 CD44E と標準型 CD44H の比(CD44 E/H 比) と臨床病理学的因子、予後との関係を検討した。胃癌、大腸癌において癌組織の E/H 比は正常粘膜の E/H 比より有意に高値であった。胃癌、大腸癌とも癌組織の E/H 比は臨床病理学的因子とは関係がなかった。しかし大腸癌において癌の再発による死亡者の E/H 比は生存症例よりも高値であり、胃癌において高 E/H 比の症例は予後不良であった。

以上より胃癌、大腸癌において CD44 E/H 比は術後症例の予後を予測するのに有用であると考えられた。

### 論文審査結果の要旨

CD44 は細胞接着分子であり mRNA の変則的スプライシングにより多数のアイソフォームが存在しており、CD44 変異型は腫瘍の増殖、転移に関与していると言われている。今回著者らは、CD44 変異型発現と胃癌、大腸癌の予後との検討を行った。

手術を行った胃癌 30 例、大腸癌 25 例の手術標本を用い CD44 プライマーで RT-PCR を行い、治癒切除例を対象に上皮型 CD44E と標準型 CD44H の比 (CD44E / H 比) と臨床病理学的因子、予後との関係を検討した。その結果、胃癌、大腸癌において癌組織の E / H 比は正常粘膜の E / H 比より有意に高値であることを認め、胃癌、大腸癌とも癌組織の E / H 比は臨床病理学的因子とは関係がなかった。しかし大腸癌において癌の再発による死亡者の E / H 比は生存症例よりも高値であり、胃癌において高 E / H 比の症例は予後不良であった。以上の結果より胃癌、大腸癌において CD44E / H 比は術後症例の予後を予測するのに有用である報告している。